

2023年3月期 第3四半期決算補足説明資料

株式会社インプレスホールディングス
(スタンダード：9479)

2023年2月10日

免責事項

本資料の取り扱いについて 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。

2023年3月期 第3四半期業績

2023年3月期 第3四半期業績ハイライト

- 連結売上高は11,432百万円（前期比+2.6%/+290百万円）。
- 前第2四半期末より連結開始したイカロス出版は、売上高568百万円の増収に寄与したものの営業損失を計上。イカロス出版以外の既存会社は出版・電子出版を中心に減収（前期比▲2.5%/▲277百万円）、収益性の悪化も加わり、営業利益は374百万円（前期比▲61.0%/▲586百万円）、経常利益は461百万円（前期比▲55.2%/▲568百万円）、当期純利益は320百万円（前期比▲66.3%/▲631百万円）。
※前期はイカロス出版の子会社化による負ののれん発生益などで特別利益237百万円を計上。
- 出版・電子出版は、イカロス出版の連結により540百万円の売上増加があったものの、電子出版は前期の電子書店の大型キャンペーンの反動、紙の出版についても、前期の大型タイトル刊行の反動・巣ごもり需要の一巡等による出荷減が影響し、売上高6,186百万円（前期比+0.5%/+30百万円）にとどまる。
- ネットメディア・サービスは、巣ごもり需要の一巡や不透明な景気動向が影響し、Impress Watchのデジタル広告等が減収となり、売上高1,342百万円（前期比▲6.0%/▲85百万円）。
- ターゲットメディアは、大型イベントが好調で、売上高956百万円（前期比+7.9%/+69百万円）。
- プラットフォーム事業は、人気タイトルが牽引し電子コミックプラットフォームが好調。POD出版プラットフォームもメディアドゥとの協業開始により増収となり、売上高2,051百万円（前期比+13.3%/+241百万円）。

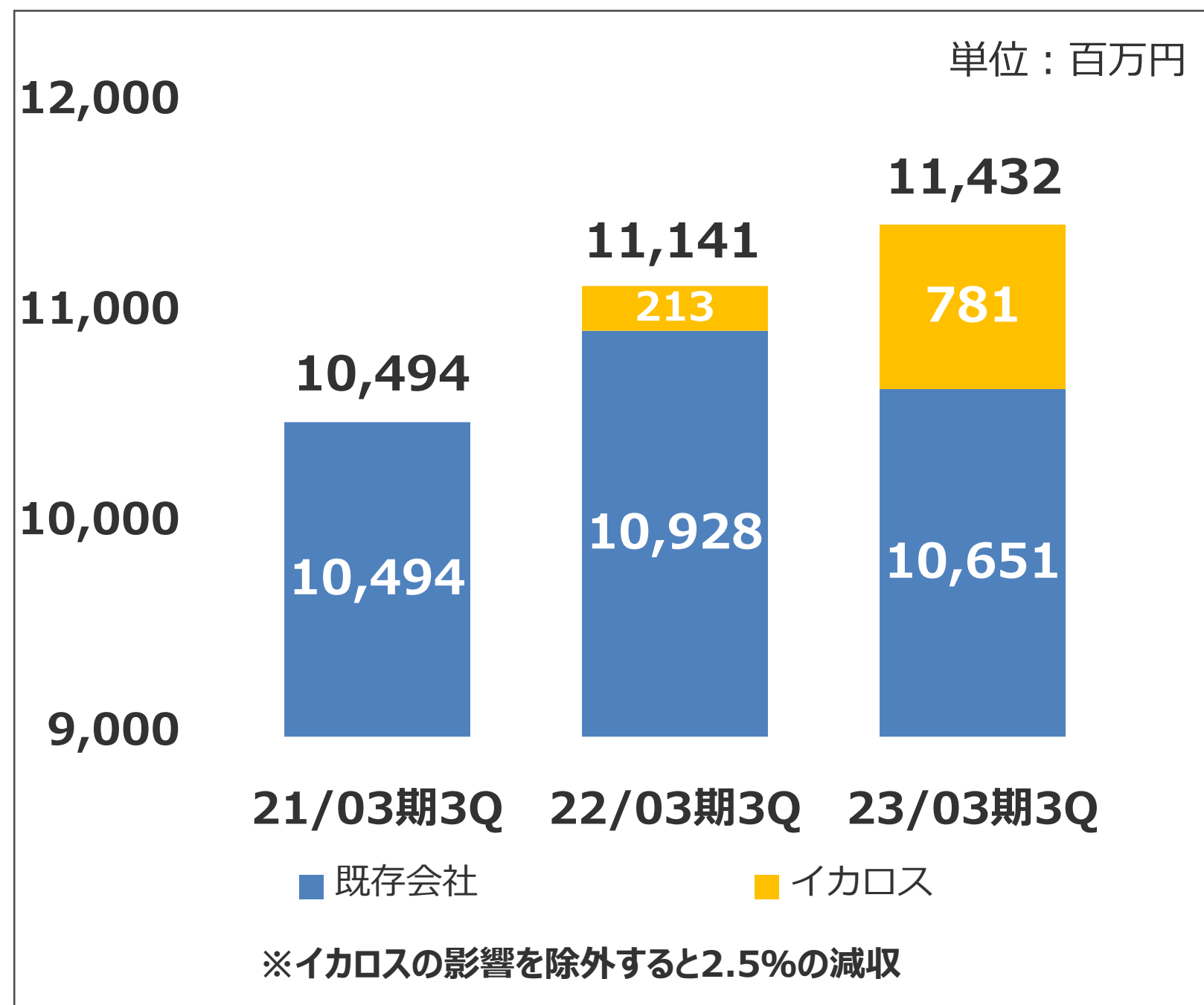
2023年3月期 第3四半期連結業績

単位：百万円

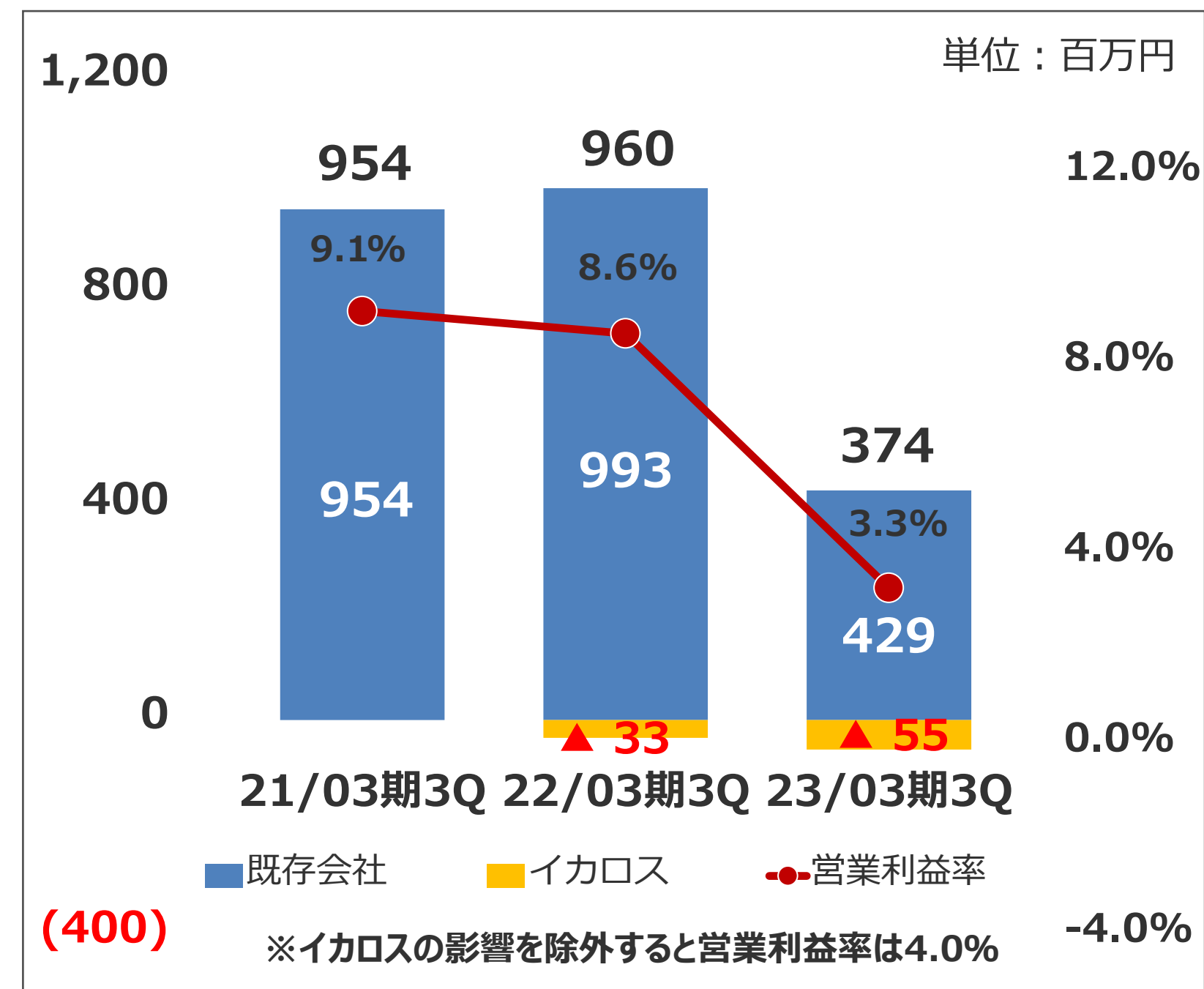
	22/03期 第3四半期	23/03期(当期) 第3四半期		
	実績	実績	前期比	
売上高	11,141	11,432	+2.6%	+290
営業利益	960	374	▲61.0%	▲586
経常利益	1,030	461	▲55.2%	▲568
当期純利益	952	320	▲66.3%	▲631

連結業績推移（3期比較）

■売上高



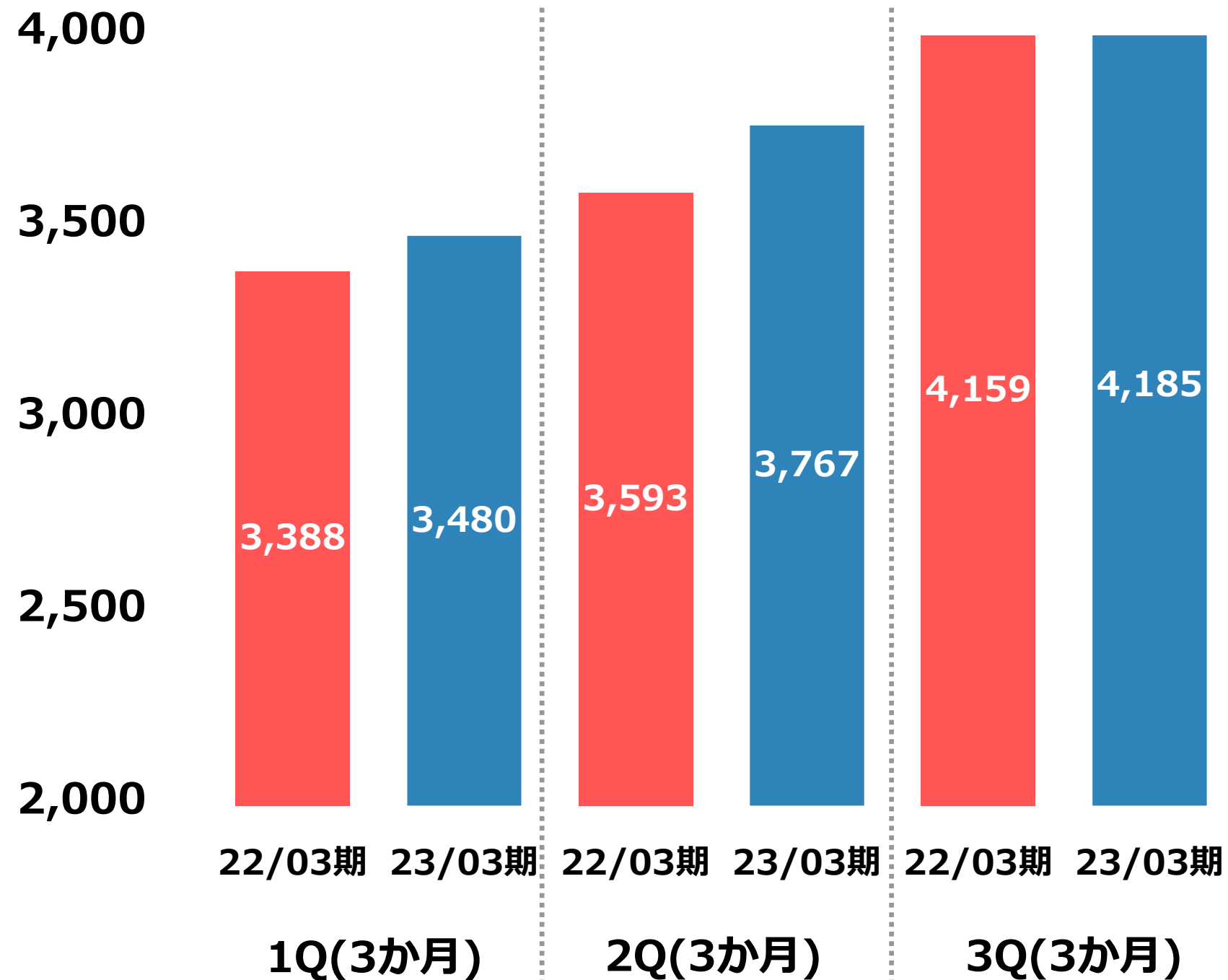
■営業利益・営業利益率



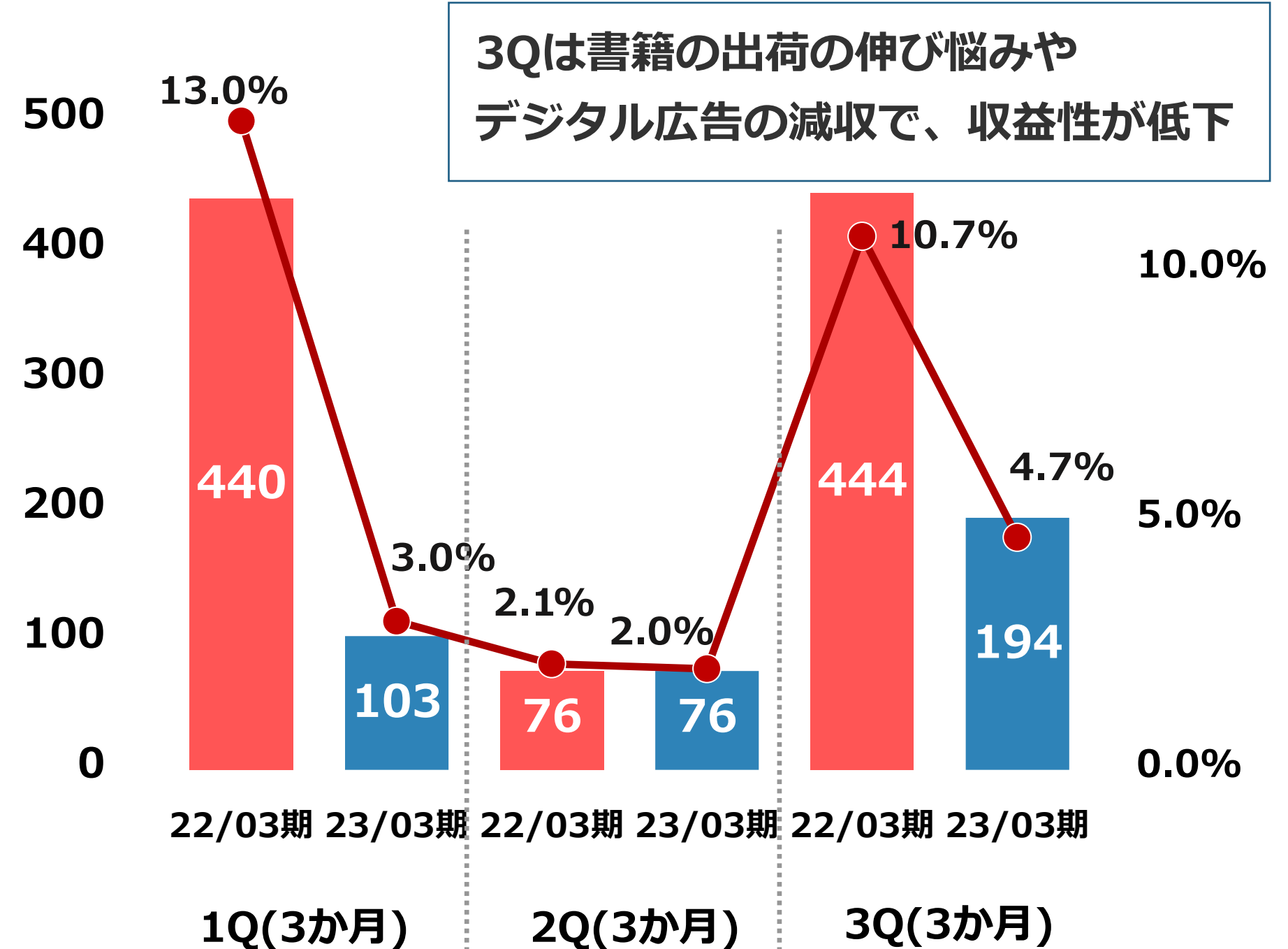
連結業績推移（四半期比較）

単位：百万円

■ 売上高

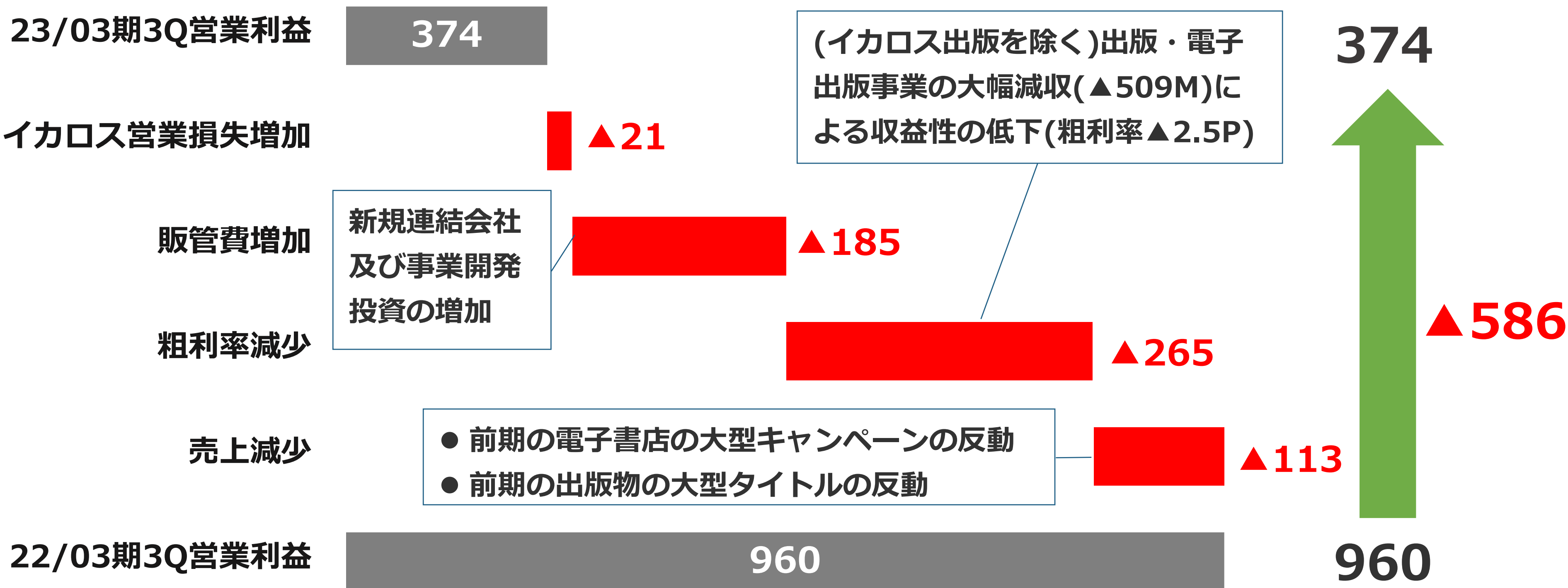


■ 営業利益と営業利益率



2023年3月期 第3四半期 営業利益の増減要因

単位：百万円



※イカロス出版連結の影響はイカロス営業損失に表示しており、その他の項目の増減額からは除外しております。

事業区分・セグメント別業績概要

2023年3月期 第3四半期 事業区分別売上高

単位：百万円

事業区分	22/03期 第3四半期	23/03期(当期) 第3四半期		
	実績	実績	前期比	
コンテンツ事業	9,331	9,380	+0.5%	+49
出版・電子出版	6,155	6,186	+0.5%	+30
ネットメディア・サービス	1,427	1,342	▲6.0%	▲85
ターゲットメディア	886	956	+7.9%	+69
ソリューション	861	895	+4.0%	+34
プラットフォーム事業	1,810	2,051	+13.3%	+241
合計	11,141	11,432	+2.6%	+290

2023年3月期 第3四半期 事業区分別売上高の増減サマリー

単位：百万円

23/03期3Q売上高

11,432

11,432

プラットフォーム他

- 人気タイトルが牽引し電子コミックPFが堅調
- メディアドゥとの協業開始でPOD出版PFが堅調



+275

ターゲットメディア

イベント収入の好調が持続



+69

ネットメディア・サービス

巣ごもり需要の一巡等で
Impress WatchのPVに落ち着き



+85

出版・電子出版（イカロス）

書籍の出荷減少、前期大型ムック・電子書店の大型キャンペーンの反動等で大きく減収



+540

出版・電子出版（既存会社）



+509

22/03期3Q売上高

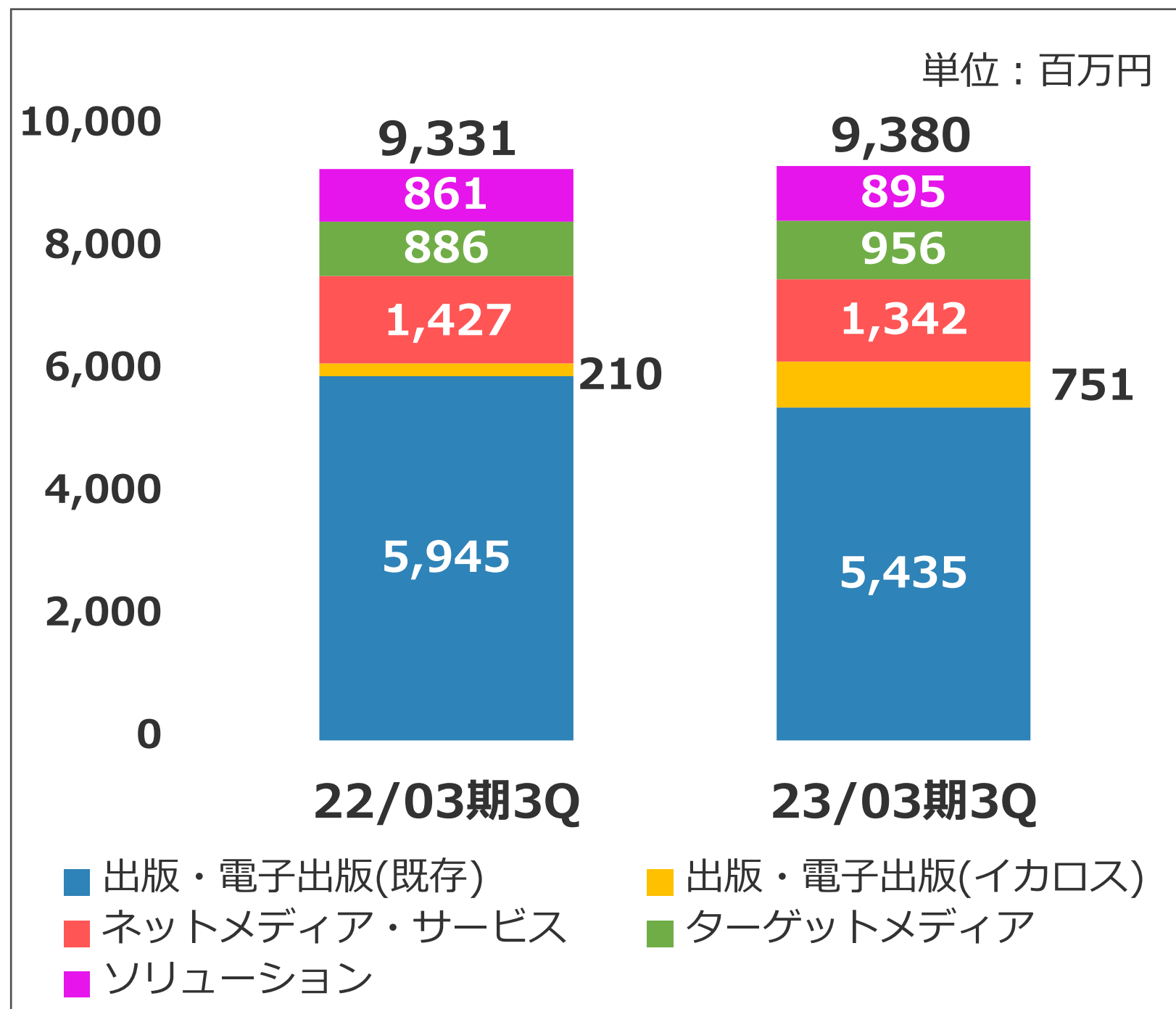
11,141

11,141

+290

2023年3月期 第3四半期 事業区分別売上高：コンテンツ事業

■コンテンツ事業売上高

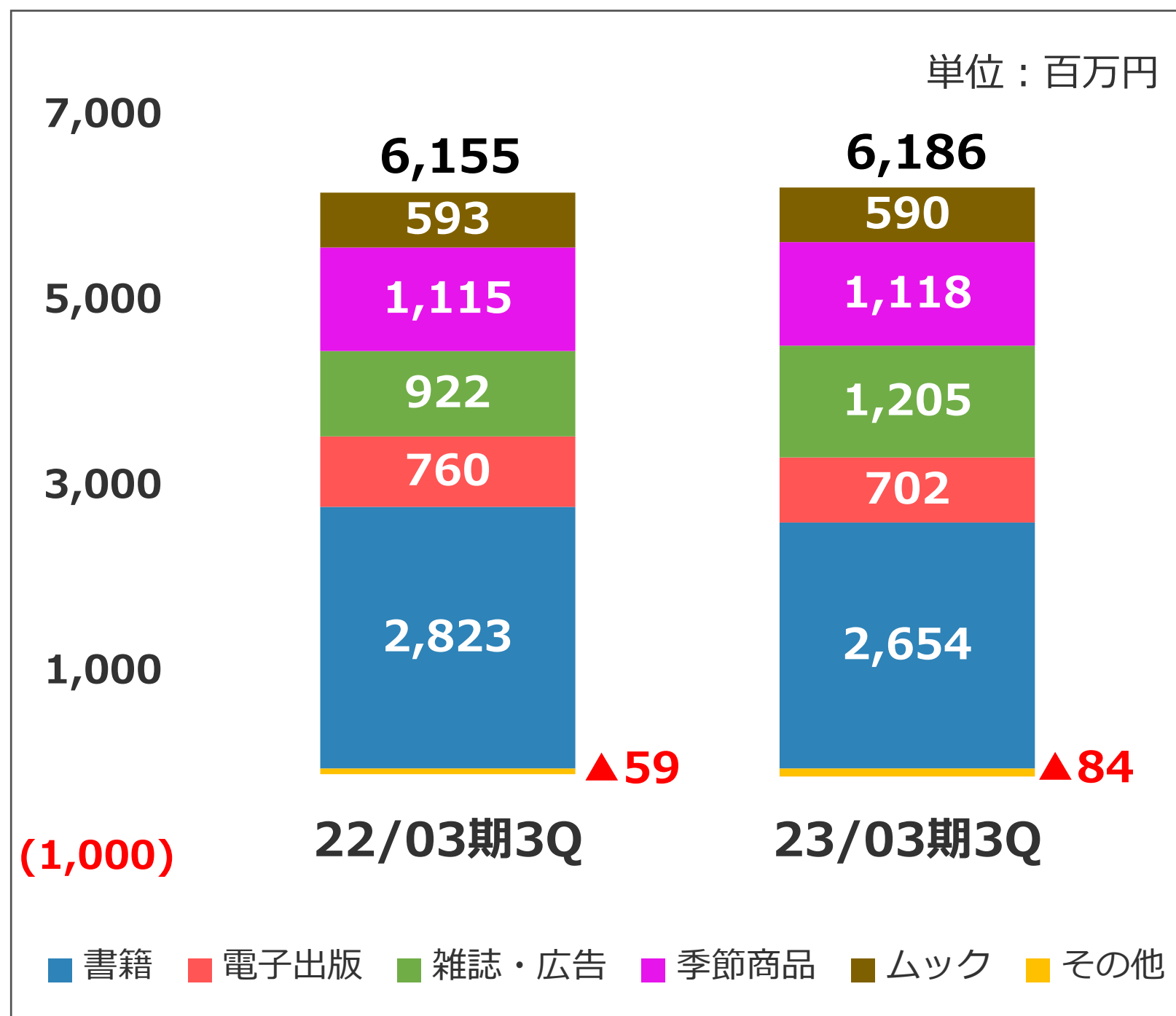


コンテンツ事業：+0.5% (+49M) の増収

- 出版・電子出版：+0.5% (+30M) の増収
イカロス出版連結で+540Mも、既存会社は前期の電子書店の大型キャンペーンや音楽セグメント等の大型タイトルの反動、巣ごもり需要の一巡等による書籍の出荷減少等で大幅な(▲509M) 減収
- ネットメディア：▲6.0% (▲85M) の減収
巣ごもり需要の一巡で、ITセグメントのImpress WatchのPVに落ち着き、不透明な景気動向も影響し、デジタル広告が減収
- ターゲットメディア：+7.9% (+69M) の増収
ITセグメントの大型イベントが好調を継続し、増収

2023年3月期 第3四半期 事業区分別売上高：コンテンツ事業_出版・電子出版

■コンテンツ事業：出版・電子出版売上高



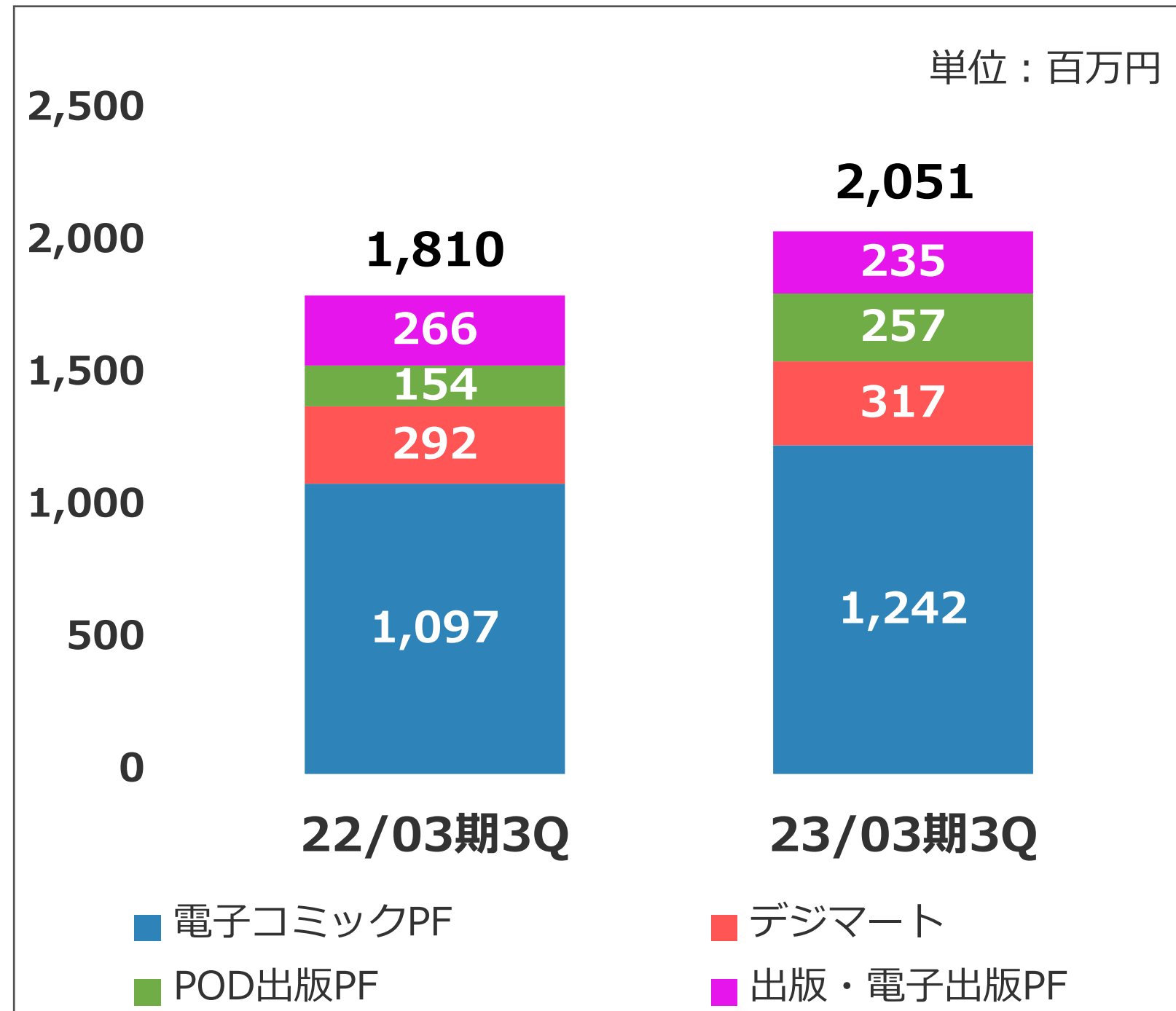
出版・電子出版：+0.5%（+30M）の増収

※うち、イカロス出版連結の影響+540M

- 書籍：▲6.0%（▲169M）の減収
新刊は刊行点数増加も前期並み、巣ごもり需要の一巡等により既刊書籍の出荷が減少
- 電子出版：▲7.7%（▲58M）の大幅減収
前期電子書店の大型キャンペーン（100M規模）の反動
- 雑誌・広告：+30.8%（+283M）の大幅増収
イカロス出版連結の影響+300M
- 季節商品：+0.3%（+3M）
年賀状は減収も、カレンダーの刊行点数増加によりカバー
- ムック：▲0.6%（▲3M）の減収
イカロス出版連結の影響+158Mも、前期の音楽及び山岳・自然セグメントの大型タイトルの反動で減収

2023年3月期 第3四半期 事業区分別売上高：プラットフォーム事業

■プラットフォーム事業売上高



プラットフォーム事業：+13.3% (+241M)
電子コミックPF、POD出版PFの堅調な推移で増収

- 電子コミックPF：+13.2% (+145M) の増収
人気タイトルの牽引で、出版社向けサービスが好調
- デジタルマート：+8.6% (+25M) の増収
取引高堅調、楽器店からの決済サービス収入が増加
- POD出版PF：+66.1% (+102M) の増収
メディアドゥとの協業開始等により増収
- 出版・電子出版PF：▲11.7% (▲31M) の減収
パートナー出版社の取扱減により手数料収入等が減少

2023年3月期 第3四半期 セグメント別概況

- 出版・電子出版事業の厳しい動向を受け、IT、音楽、デザイン、山岳・自然といった出版を収益基盤とする主要セグメントが軒並み減収・減益の結果となった。
- 特に減益幅が大きい、ITは、巣ごもり需要の一巡や不透明な景気動向によるネットメディアの減収が大きい。音楽は、前期の大型ムック刊行の反動、ネットメディア等の減収。山岳・自然は、前期の大型タイトル刊行の反動に加えてカレンダーが減収。
- 航空・鉄道については、イカロス出版連結の影響で、売上高は大きく拡大も、事業構造改革のフェーズにあり、赤字幅も拡大。
- 唯一、堅調なセグメントは、モバイルサービス。マンガコンテンツの開発投資は拡大しているものの、人気タイトルが牽引し、電子コミックプラットフォームが好調で、増収増益。なお、その他セグメントについては、POD出版プラットフォームにおけるメディアドゥとの協業開始等により増収。

2023年3月期 第3四半期 セグメント別売上高・セグメント利益

単位：百万円

セグメント区分	売上高		セグメント利益	
	金額	前期比	金額	前期比
IT	4,812	▲4.5%	731	▲250
音楽	1,400	▲9.5%	▲78	▲224
デザイン	746	▲8.2%	▲67	▲53
山岳・自然	1,324	▲12.1%	36	▲110
航空・鉄道	1,013	+115.0%	▲92	▲36
モバイルサービス	1,402	+12.1%	313	+77
その他	1,109	+76.7%	▲16	▲11
全社 + 消去	▲376	—	▲452	+23
合計	11,432	+2.6%	374	▲586

(参考資料) 当社グループの概要

当社グループの「セグメント」と「事業」





専門書籍・雑誌



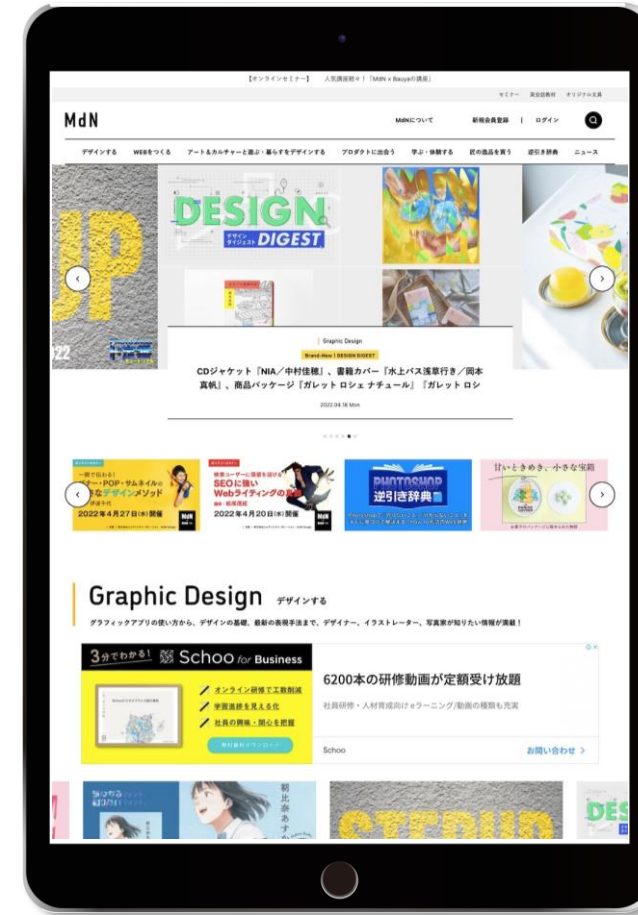
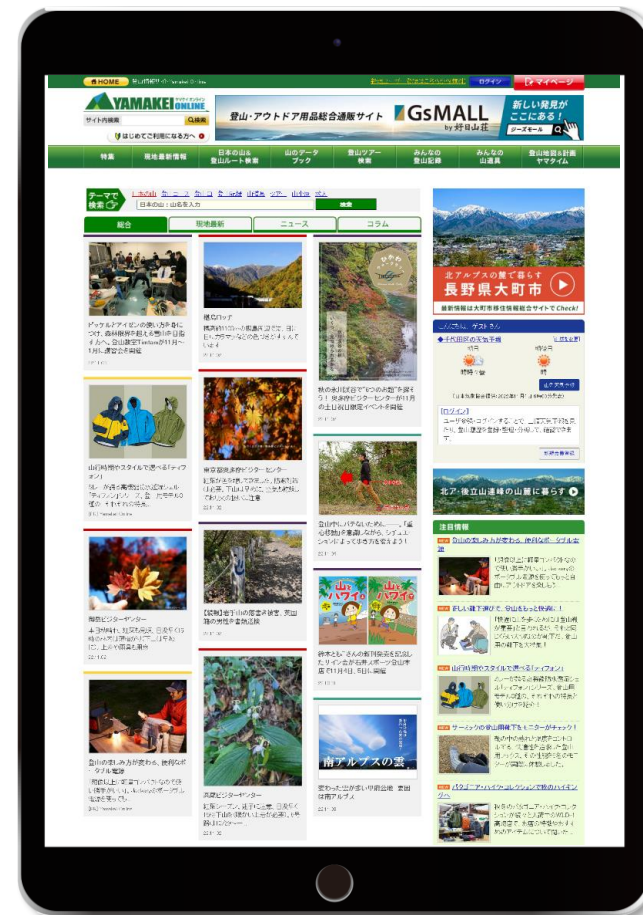
電子書籍



年賀状ムック
カレンダー

コンテンツ事業 [メディア&サービス事業]

ネットメディア・サービス



デジタル総合
ニュース

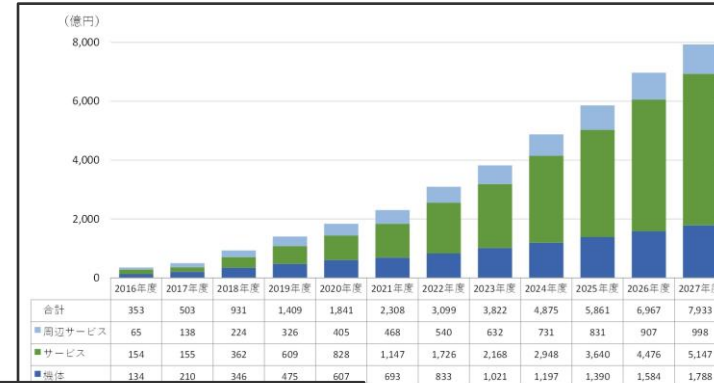
登山

デザイン

音楽



IT Leaders



サービスの3つで構成される。ポート型、潜水型)の完成品機体の国内での販売金額。軍用。ただし、ソリューションの一部のみドローンが活用体が自社所有のドローンを活用する場合は、外部企業に委託。期メンテナンス費用、人材育成や任意保険等の市場規模。

出所：インプレス総合研究所作成



ビジネスメディア

調査報告書

イベント・セミナー

コンテンツ事業 [ソリューション事業]



※天夢人が事務局の運営を受託

企業・自治体等のSP・PRツール、Webサイト受託制作

プラットフォーム事業



EC
プラットフォーム



電子コミック
プラットフォーム



出版流通
プラットフォーム

※株式会社シフカの概要

■概要



設立：1984年6月

GUI*/UXデザインを軸に、スマートフォンやWebアプリのコンサルティング、イラストやアニメーション制作など多岐にわたる分野でサポート提供。設立当初より、誰にでもわかりやすい優しいデザインを市場に提案。*GUI(Graphical User Interface)

■株式取得の理由

1999年に、年賀状ムックの商品開発の安定化を目的として関連会社化。
2022年9月に子会社化。

■サービスの一例

年賀状ムック

元祖！シリーズ累計2,600万部発行～売り上げNo.1

日本初の年賀状ムックをインプレスと企画・制作・発行企画とクオリティで業界トップを邁進。

